



期日	令和5年8月30日（水）	時間	19:30～20:30	場所	高椋東部コミュニティセンター
参加者	高椋東部地区／7人 …地区区長会、まちづくり協議会役員、PTA、各種団体				
	坂井市／8人 …市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、建設部長、生活環境部長				

## 参加者からの意見・提案等

**Q.** 高田区から丸岡南中学校へ行く道(県道160号線)の幅が非常に狭いです。通勤時間と通学時間が重なり、車がすれ違うたびどちらか一台が停車し、その横を中学生が自転車で通らざるを得ない状況で、とても危険です。対策をお願いします。

**Q.** 移住支援の対象は、18歳以上50歳未満となっています。50歳過ぎといってもまだ働ける世代です。親の介護をきっかけに坂井市に戻り定住しようという人には、何の支援もないのでしょうか。

**Q.** IターンやUターンに向けた呼びかけは、“広く誰にでも”ではなく、坂井市出身者に直接すると良いと思います。

**Q.** 暮らしやすく、子どもが生き生きできるまちにしていくために、中長期的な計画や構想があれば、教えてください。

**Q.** 既存の公共施設、特にコミセンや学校について従来の枠を超えた活用の仕方ができると思います。

## 市からの返答

**A.** 県道160号線については地元からも要望をいただいています。通学路の危険や不便を解消することは大事なことであり、皆さんの要望を県に伝え、対策を強く求めていきます。

**A.** 国の制度の関係で、若い層を中心とした支援を運用しています。その枠を超えた施策を打つことで市の独自性を出すことにもなるので、50歳以上を対象とした移住施策を展開する他市事例を調べながら、ニーズや効果と併せて、実行できるかを検討したいと思います。

**A.** 個人情報保護に留意しながら、本市出身者にアプローチする手段を検討中です。市外にいても地元の情報がスマホなどに配信される「坂井会」(公式ファンクラブ)を立ち上げたので、その利用拡大と併せて、直接つながる方法を検討していきたいと思います。

**A.** 学校生活面の環境整備も必要ですが、詰め込み教育ではなく、自ら考え、興味をもって頑張る力を応援したいと思っています。地域との関わりの中で、さまざまな活動や体験を重ねることで感受性が豊かになりますし、一人でも多く、自分の興味や能力を活かしながら地元で暮らし続けてくれることを目指したいです。

**A.** コミセンについては、地域づくりの拠点として、時代にあった施設活用を庁内連携して進めていきます。学校については、社会体育の振興を目的に、小中学校の体育施設の市民開放を行っています。ただ、校舎に関して不特定多数の方利用いただくと、セキュリティ面の強化をさらに図る必要があり、施設の構造を変えて複合的に使用することは、現段階では厳しいのではと考えます。